

令和5年度 児童発達支援評価表 【事業者向け】

公表：令和6年3月1日

多機能型事業所 てとて(児童発達支援)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	対策等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12				
	②	職員の配置数は適切であるか	11	1		<ul style="list-style-type: none"> もっと丁寧に関わりたいと感じる時がある。 個別支援の必要が多い時はギリギリだが、手厚い支援ができる人数配置だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定基準を遵守した人数配置をしているが、職員一人一人が余裕をもって支援に当たられるよう増員やスキルアップを図っていききたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	12			<ul style="list-style-type: none"> 工夫はしているが、もっとできると思う。 玄関は、階段のためバリアフリー化していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関については、手すりなどは今後考えていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11		1	<ul style="list-style-type: none"> 適切な人数で活動できるよう人数調整をしている。また、仕切りを工夫して設置する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達特性を考慮した環境設定をしていけるように努める。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 午後担当、児発職員間での反省が行えず、個々の理解度が統一されていない時がある。 日々の業務を行う事で良しとなり、個々が時間を有効活用できていない。 時間を確保できたらもっと良くなると思います。 評価から反省までに進まないことは多少あるため、上手く時間を作ったり、記載しておくことを心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人のスキルアップは必須。適切な目標設定や反省の必要性を知らせ、チームで業務改善していききたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11		1	<ul style="list-style-type: none"> 対応していないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にパートタイマー職員への伝達が足りていないように感じる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	1			<ul style="list-style-type: none"> ホームページにて、毎年評価内容を見えるようにしている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	6			<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価は行ってない。必要に応じて外部評価を取り入れていきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10		1	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修は、とても勉強になるよい機会である。 研修を受けれていないのでわからない。 今後参加していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に社内研修を開催し、職員のスキルアップを図っている。パートタイマーは、なかなか研修を受ける時間がないため、研修の機会を設けていきたい。 外部研修に参加できるよう職員体制を整えていきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> より時間をかけて、育みたいポイントやどのような活動が効果的かなどを調べながら立案したり、繰り返し課題を提供する中でより細分化したりして、成長を促していきたいと考えている。 	
	⑪	子ども達の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	1		<ul style="list-style-type: none"> 利用児童一人一人に合わせて考えているが、情報を整理して分析をし、支援に繋げていくのにより時間をかける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントツールの見直しを行っていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の理解が低い職員がいるため、個別支援計画の内容を改めて周知していく必要がある。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1			<ul style="list-style-type: none"> 支援計画の内容は、原案会議だけでなく、月目標の設定でも提示してきているが、より全体で把握していけるように周知していく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1	1	<ul style="list-style-type: none"> チームでは行えていないところがある。 児発管に頼ってしまうところが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前担当、午後担当での打ち合わせ内で、児発管も参加しチームで立案していけるよう改善していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	12				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12				
	⑰	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> 時間は十分じゃないかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間をとれるよう工夫をしていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1		<ul style="list-style-type: none"> 意見を出しやすい雰囲気の中で、振り返りをしていけるよう改善が必要。 十分に行われていない時がある。個々の連携に対する意識の低さが見られる時がある。 反省の時間ももっとあればより深く話ができると思う。 時間がない時は、重要な点は伝え共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前療育終了後の反省は、当日の療育後に行い、午後療育の反省は、翌日の打ち合わせ時に行っている。午前、午後全体での反省は、金曜日に行っている。 反省時間の確保の他、スタッフの評価や反省の質の向上が必要。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12			<ul style="list-style-type: none"> 記録はとっているが洩れてしまうことがあるので、工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録様式の見直しを行い、記録のしやすさ、見返しやすさなど、工夫していきたい。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12				
関係機関や保護者連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	5		・携わっていないため、わからない。	・管理者、児発管が対応している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	2		・携わっていないため、わからない。	・主に管理者が対応している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・該当しません	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・該当しません	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	2		・対応していないのでわからない。	・管理者、児発管が対応している。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	5		・対応していないのでわからない。	・小学校への移行支援は行えていないが、支援センターへの移行支援や引っ越し先で療育を受ける場合の情報提供は都度行えている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	3	1	・対応していないのでわからない。	・他事業所との連携は、可能な限り行っている。また、センターが主催の研修にも参加してきた。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	7	・対応していないのでわからない。	・定期的に交流する機会は作れていないが、8月にイベントを開催し、施設外の子どもとも交流できる場を設けることはできた。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	3	4	・対応していないのでわからない。	・ケース会議が開催された際には、積極的に参加するようになってきた。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1		・送迎時に必ず様子を伝えるよう心掛けているが、連絡ノートの返却に時間がかかる事があるため、改善できると良いと思う。 ・対応していないのでわからない。	・送迎時以外にも連絡ノートやLINE、電話など、定期的に相談支援を行い、共通理解を図っている。
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	4	2		・親子通所にて、支援員が子どもとの関わり方を実践してみたり、支援のポイントやねらいを知らせたりして家族支援を行ってきました。	
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	2			・契約は、2時間程度かけて資料を基に丁寧に説明を行っているが、現場を知らないスタッフからは見えていないところなので契約に同席させるなどして、理解を深めていきたい。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	1			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	2		・連絡ノート等を使い、支援員間で相談してから相談内容に返答している。 ・対応していないのでわからない。	・事業所内相談支援の他、LINEや連絡ノートを用いて、相談にのってきた。(主に、児発管や正職員が対応している)
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	6	・対応していないのでわからない。	・親子通所にて、保護者同士交流できる場を設けている。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2		・対応していないのでわからない。	・相談の申し入れがあった場合には、速やかに日程調整を行い、相談支援を行わせて頂いております。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	1	・対応していないのでわからない。	・契約時に重要事項説明書の説明や変更があった際には、ブログでの連絡などを行っている。 ・職員への周知をしていく。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12				
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	1	・対応していないのでわからない。	・口答だけでなく、書類を用意したり、実物を見せたりしながら、情報伝達している。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	2		・8月に開催したイベントは、子ども達にとってとても良い経験になったと思う。 ・今年度初めて行うことができ、良かったと思いました。	・8月にイベントを開催し、地域住民など様々な方々との交流ができる場を設けることができた。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練が実施しているか	11	1		<ul style="list-style-type: none"> 携わっていないため、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員へ細かく周知していきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	10	2		<ul style="list-style-type: none"> 津波の心配がある場合、送迎時を想定したマニュアルの作成があっても良い。 対応していないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の避難マニュアルは早急に作成していきたい。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの伝達に加え、事業所から確認する事を行っても良い。 そこまで詳しく確認できていない。 携わっていないため、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に聞き取ったり、フェイスシートに記載して頂くようにしたりしています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	8	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断書があるかは、わからない。 対応していないのでわからない。 食事を見守る事が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に食物アレルギーのあるお子様へは、おやつを提供しておりません。アレルギーのあるお子様は、おやつを持参して個人のスペース等にて、食べて頂いております。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 以前のようにヒヤリハットの有無は自己申告となり振り返る時間が減ったため、職員間で声を掛け合う必要がある。 打ち合わせで確認し、日誌へ記入。 携わっていないため、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ずヒヤリハットの確認をするようにし、事務日誌に記入することを徹底します。また、全スタッフが把握できるようにしていきます。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	3		<ul style="list-style-type: none"> 携わっていないため、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 社内研修の実施の他に、外部研修への参加を行っています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	2		<ul style="list-style-type: none"> 携わっていないため、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化についての事業所マニュアルの読み合わせや研修を実施してきたが、把握できていない職員もいるため、次年度はより細かい内容の研修を実施していきたい。